

(様式3)

公共事業再評価調書

番 号	道路-2		事業担当局課	道路局 建設課	
事業名	一般国道1号(保土ヶ谷橋工区)			採択年度	平成21年度
施工場所	保土ヶ谷区岩井町から保土ヶ谷町二丁目			経過年数	10年
目的及び 事業概要	<p>目的</p> <p>一般国道1号は、東京都中央区を起点とし、大阪市に至る実延長約717kmの主要な幹線道路です。そのうち、西区浜松町から戸塚区汲沢町までの約14kmが横浜市管理区間となっています。</p> <p>保土ヶ谷区の保土ヶ谷橋交差点付近から一般国道16号(保土ヶ谷バイパス)狩場ICまでの区間は、横浜市内でも特に交通が集中し慢性的な渋滞が発生しているため、整備済みの狩場工区に引き続きこの区間を整備することにより、交通流の円滑化を図ります。</p> <p>事業概要</p> <p>計画延長800m、幅員25m(往復5車線)、用地面積4,100㎡</p>				
			当初(事業採択時)	変更(平成27年度)	変更(令和元年度)
	事業期間		平成21年度～平成27年度	平成21年度～令和4年度	平成21年度～令和9年度
	事業費	合計	4,000百万円	4,000百万円	4,000百万円
		国費	2,000百万円	2,000百万円	2,000百万円
		市費	2,000百万円	2,000百万円	2,000百万円
	変更内容		事業費の確保が困難であったため、事業に遅れが出ており、事業期間を延伸する予定です。		
	上位計画等		<p>横浜市中期4か年の施策の一つである「交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」において、幹線道路網による道路ネットワークの形成を推進し、効果的な道路交通サービスを提供していくとしています。</p> <p>本事業により道路拡幅及び交差点改良を行うことで、交通流の円滑化を図ります。</p>		
関連事業		今井川改修工事、東海道の歴史的資源を活かしたみちづくり整備計画(案)			
事業の 必要性	事業を巡る 社会経済情 勢等の変化	<p>先行して整備が完了している一般国道1号(狩場工区)と接続することで、保土ヶ谷橋交差点から狩場ICまで、交通の利便性向上や交通機能の強化を図る事が出来ます。</p> <p>また事業工区に架かる保土ヶ谷橋については、交差する今井川の改修工事が進んでいることから、工事時期を合わせて架替え・拡幅することで、近隣住民や交通の負荷を軽減する事が図られるとともに、災害時の広域的な避難路・緊急輸送路としての機能も期待されています。</p>			

	事業の 投資効果 ・ 事業効果等 (費用便益分析等)	事業全体		残事業
		割引率	4% (2%)	—
		総便益(B)	106.6 億円 (173.4 億円)	—
		総費用(C)	31.9 億円 ( 31.9 億円)	—
		費用便益比 (B/C)	3.3 (5.3)	—
		感度分析 [交通量-10%]	2.7 (4.2)	—
[定性的効果] 保土ヶ谷橋交差点付近から一般国道 16 号(保土ヶ谷バイパス)狩場ICまでの区間を整備することにより、交通流の円滑化と沿道環境の改善が図れるとともに、災害時の緊急輸送路としての効果が期待できます。				

事業の 進ちよく 状 況	事業進ちよく率%	設計業務については、道路や橋梁の詳細設計の実施を行います。用地交渉についても引き続き行っていくとともに、河川管理者や交通管理者との協議を進めています。今後の河川改修に合わせて、橋の架け替え工事に着手出来るように事業を進めていきます。
	6%	
	用地取得率%	
	4%	
	供用等の状況	
	—	
事業の課題 及び進ちよく 見 込 み	<p>本地区は、常時交通量の多い区間のため、保土ヶ谷橋の架け替え工事においても通行止めをせずに施工を行う必要があり、入念な施工計画の検討等が必要です。</p> <p>今後の河川改修に合わせて、保土ヶ谷橋の架け替え工事を実施していく予定のため、橋梁架替工事に必要な用地を優先的に確保していく必要がありますが、事業費の確保が厳しい状況にあり、用地取得が困難な状況が予測されます。</p>	
その他 (コスト削減項目等)	<p>舗装、構造物の築造等については、設計の段階から可能な限り工事費の削減に努めるとともに、長寿命化の検討を行い、維持管理費の削減に努めます。舗装、構造物の基礎等について再生材を使用する等、可能な限りコスト削減に努めます。</p>	
その他	—	
添付資料	有 ・ 無	

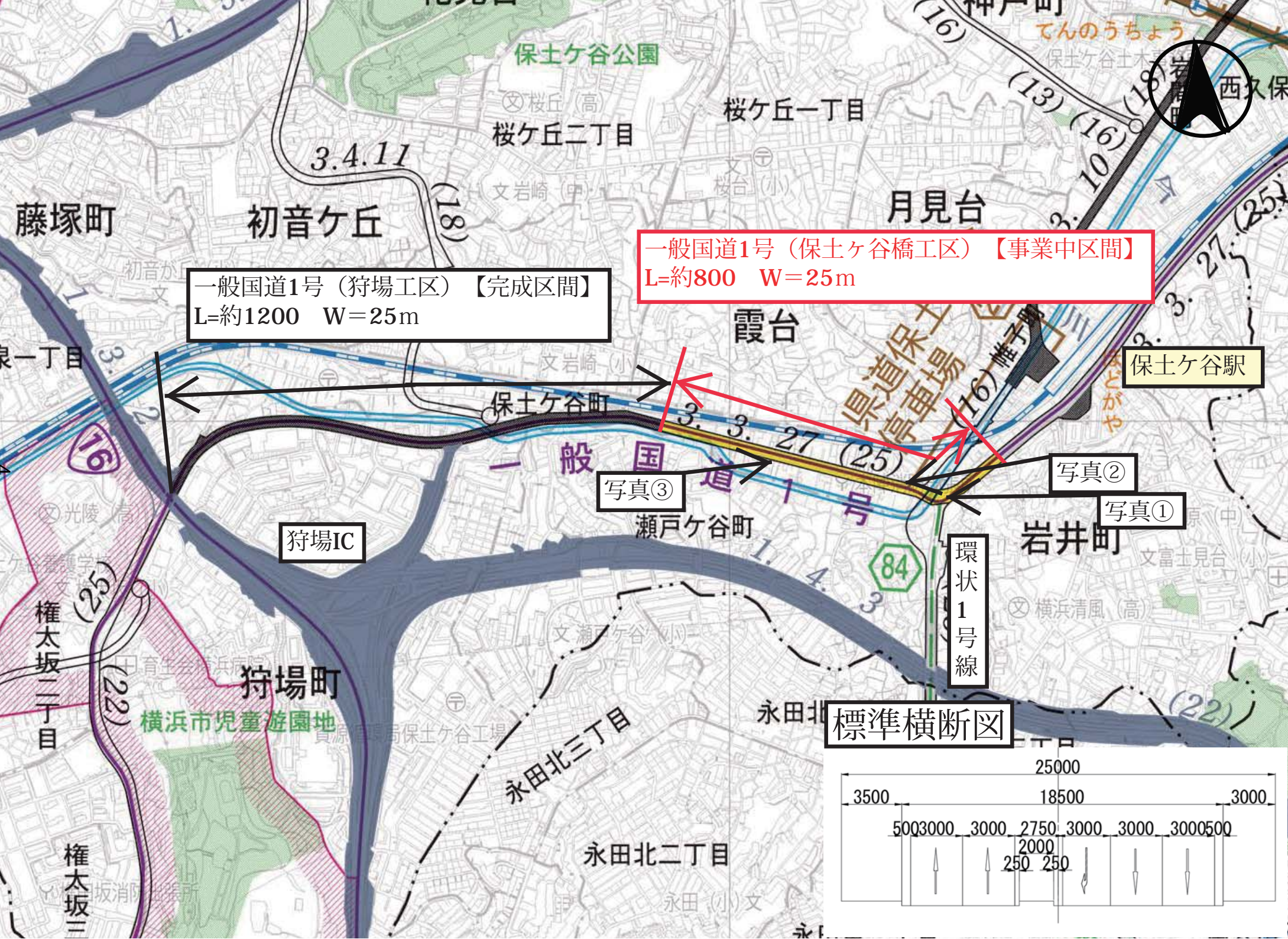
対応方針		計画通り(上記計画を実施)※1
	継続	一部見直し(上記計画を変更)※2
		【見直し内容】
中止		

対応方針 とした理由	<p>隣接する狩場 IC 区間の整備が完了しており、当該事業区間を整備することにより、保土ヶ谷橋交差点付近まで連続して整備することができ、交通の円滑化や災害時の緊急輸送路としての機能強化などの整備効果を発揮できます。</p> <p>交差する今井川の河川改修工事と同時に保土ヶ谷橋の架替え工事を行うことで、近隣や交通への影響を最小限にとどめ、効率的な施工を行えるため、事業を継続して実施する必要があると判断しています。</p>
---------------	--

※1：既に見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。前の再評価で「継続(一部見直し)」の事業についても、その見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。

※2：今後、見直しを行うことが確定している事業は、こちらを選択し、見直し内容を記載してください。





一般国道1号 (狩場工区) 【完成区間】  
L=約1200 W=25m

一般国道1号 (保土ヶ谷橋工区) 【事業中区間】  
L=約800 W=25m

狩場IC

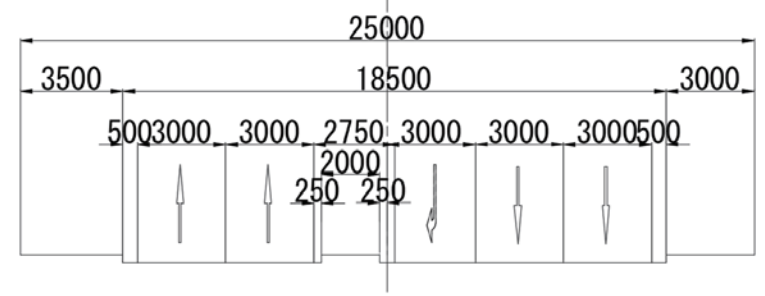
写真③

写真②

写真①

環状1号線

標準横断面







歩道

事業区域

歩道

5



9



歩道

事業区域

歩道



7



歩道

事業区域

歩道

路線名	一般国道1号(保土ヶ谷橋工区)
-----	-----------------

(単位:円)

	事業費			本工事費		測量設計費		用地・補償費					その他
	単年度	累計		単年度	累計	単年度	累計			単年度	累計		
21年度	30,700,000	30,700,000	0.8%	0	0	30,700,000	30,700,000	0	0	0.00m2	0.00m2	0.0%	
22年度	13,941,900	44,641,900	1.1%	0	0	13,941,900	44,641,900	0	0	0.00m2	0.00m2	0.0%	
23年度	25,742,888	70,384,788	1.8%	0	0	25,742,888	70,384,788	0	0	0.00m2	0.00m2	0.0%	
24年度	7,250,250	77,635,038	1.9%	0	0	7,250,250	77,635,038	0	0	0.00m2	0.00m2	0.0%	
25年度	6,300,000	83,935,038	2.1%	0	0	6,300,000	83,935,038	0	0	0.00m2	0.00m2	0.0%	
26年度	3,780,000	87,715,038	2.2%	0	0	3,780,000	87,715,038	0	0	0.00m2	0.00m2	0.0%	
27年度	3,024,000	90,739,038	2.3%	0	0	3,024,000	90,739,038	0	0	0.00m2	0.00m2	0.0%	
28年度	107,558,400	198,297,438	5.0%	0	0	11,556,000	102,295,038	96,002,400	96,002,400	123.08m2	123.08m2	3.0%	
29年度	20,445,480	218,742,918	5.5%	0	0	20,445,480	122,740,518	0	96,002,400	0.00m2	123.08m2	3.0%	
30年度	31,056,000	249,798,918	6.2%	0	0	11,856,000	134,596,518	19,200,000	115,202,400	35.68m2	158.76m2	3.9%	

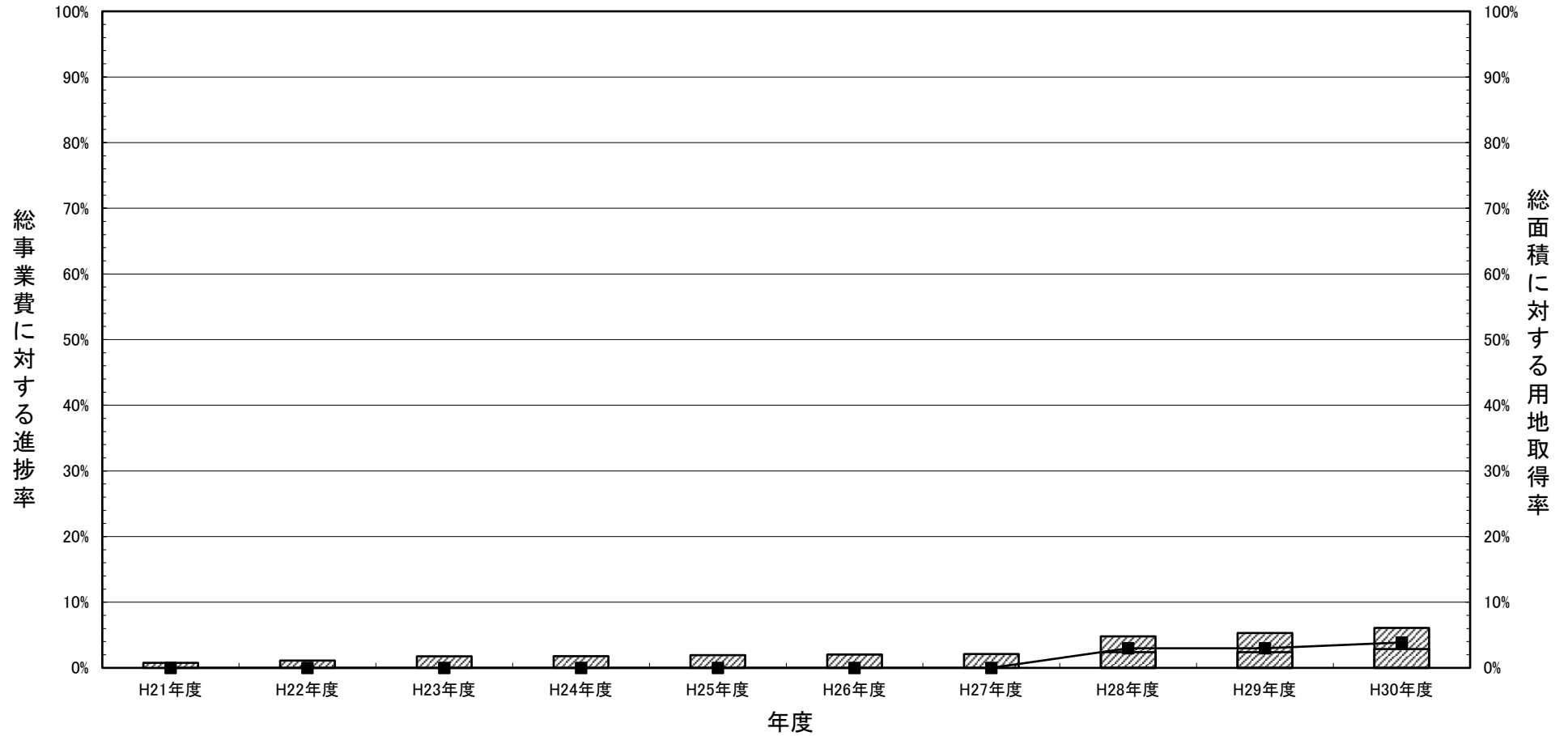
※ 1事業進捗率(合計)は全体事業費(様式3参照)に占める各年度までの用地補償費と工事委託費の和

※ 2用地取得率は事業全体の取得面積(様式3参照)に占める各年度までの取得面積の割合



## 事業費の推移

■ 用地費 □ 工事費 ■ 用地取得率



前回評価内容との比較 一般国道1号（保土ヶ谷橋工区）

	前回（H20）	今回（R1）	11年間の経過
事業を巡る社会経済情勢等の変化	一般国道1号（狩場工区）の事業完了に伴い、車線数が不足している保土ヶ谷橋交差点付近は、渋滞に拍車がかかる事が予想されるため、本地区の整備による道路ネットワークの形成の重要性がより高まっています。	事業工区に架かる保土ヶ谷橋については、交差する今井川の改修工事が進んでいることから、工事時期を合わせて架替え・拡幅することで、近隣や交通負荷の軽減が図られるとともに、災害時の広域的な避難路・緊急輸送路としての機能も期待されています。	保土ヶ谷橋は健全度を維持しているものの、供用後約90年が経過しており、緊急輸送路に架かるため、早期に架け替えを行う事で、災害時の交通機能の確実性が求められています。
事業進捗率	0%	6%	+6%
用地取得率	0%	4%	+4%
供用等の状況	—	—	—
B/C	3.7	3.3	-0.4
事業の進捗見込	事業実施にあたっては、周辺地域の方々を対象に事業着手年度に事業内容や測量及び調査実施等の説明会を開催します。 事業説明会後に事業着手し、現道拡幅事業を実施するための、沿道用地取得等を行い、平成27年度までに完了する事を目標に進めていきます。	本地区は、常時交通量の多い区間のため、保土ヶ谷橋の架け替え工事においても通行止めをせずに施工を行う必要があります。入念な施工計画の検討等が必要です。 令和4年度の河川改修に合わせて、保土ヶ谷橋の架け替え工事を5か年かけて実施していく予定です。	保土ヶ谷橋の架け替え工事を先行して実施していくため、用地交渉においても該当箇所を集中的に交渉しております。分筆や土地・建物調査に応じている権利者もあり、今後も未買収の用地交渉を進めていきます。